

Stataによるパネル調査データ分析の実践

日時： 2024年3月4日（月） 10:30～17:00

場所： オンライン開催（詳細は別途ご案内）

料金： 一般 5,000 円、学生 2,500 円

講師： 麦山亮太（学習院大学）

定員： 35名 ※変更の可能性あり

■本コースの内容

日本においても多くの大規模パネル調査データが蓄積されるようになり、パネル調査データの分析可能性は飛躍的に広がっています。本コースでは、統計ソフト **Stata** を用いて、パネル調査データを使った分析の基礎的な手順と、代表的なパネル調査データ分析の方法を学習します。具体的には、どのように分析のためのデータセットを作ればよいのか、どのような問いに対してどのような方法を使うべきかに焦点を当てて学習します。たんに **Stata** で結果を出すというだけでなく、どのようにして見やすい図表を作るのか、結果を出力・保存するため効率的なワークフローといった実践的な側面にも重点をおいて解説します。

■次のような方におすすめです

- ・一時点の社会調査データの分析経験はあるが、パネル調査データを分析した経験はなく、分析してみたい
- ・パネルデータを分析するための手順を知りたい
- ・パネルデータの分析方法をどのように選べばよいか知りたい
- ・パネル調査データを分析した経験があるが、よりよいデータ構築の手順や方法の選び方について知りたい

■注意事項

- ・どなたでも参加可能です。
- ・ただし、**SSJ** データアーカイブのデータを利用した講義の場合、利用したデータを3月中に削除して頂く必要がございます。
- ・大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、**SSJ** データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方は、その後、研究目的で **SSJ** データアーカイブより申請して頂くことで利用可能です。
- ・**Stata** がインストールされていないパソコンをご利用の方は、募集フォームの「**Stata** インストール希望」にチェックを入れてください。後日、事務局から期限付きライセンスをご案内いたします。

■本コースの日程

- ・パネルデータで答えられる問い
- ・パネルデータの構造と作成手順
- ・固定効果モデル

- ・差分の差分法・イベントスタディ
 - ・ランダム効果モデル
 - ・カテゴリ変数を従属変数にする
 - ・脱落の問題と対処
- * 進度によって内容が若干変わることがあります。